

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成19年>>

<週報> 第42週 (平成19年10月15日～10月21日)

発行日：平成19年10月24日

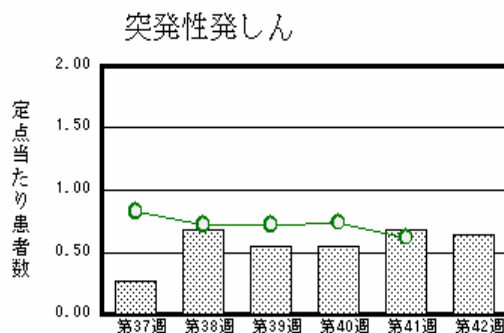
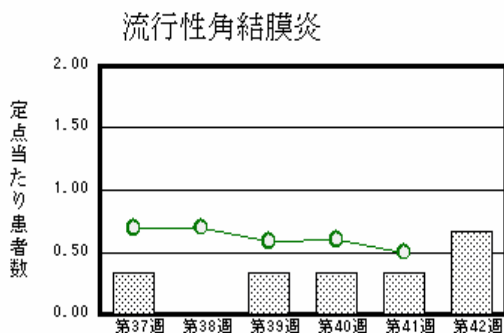
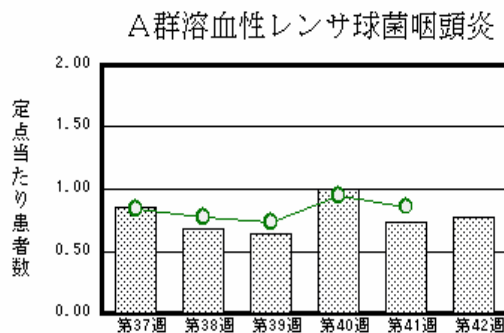
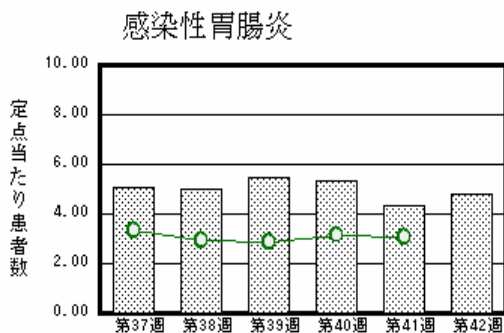
発行：福井県健康福祉部健康増進課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎105名(4.77名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎17名(0.77名) 流行性角結膜炎2名(0.67名) 突発性発しん14名(0.64名) 水痘13名(0.59名) ()内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(105名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(17名) 突発性発しん(14名) 水痘(13名) 流行性耳下腺炎(11名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は105名です。定点当たり報告数は増加しました(4.36名 4.77名)。地域別にみると福井地区10.14名、二州地区3.00名、坂井地区2.67名、丹南地区2.60名、若狭地区1.50名、奥越地区0.50名の順となっています。
4. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は17名です。定点当たり報告数は増加しました(0.73名 0.77名)。地域別にみると奥越地区1.50名、坂井地区1.00名、丹南地区1.00名、福井地区0.71名、二州地区0.33名の順となっています。
5. 【流行性角結膜炎】報告数は2名です。定点当たり報告数は増加しました(0.33名 0.67名)。地域別にみると丹南地区2.00名となっています。
6. 【突発性発しん】報告数は14名です。定点当たり報告数は減少しました(0.68名 0.64名)。地域別にみると奥越地区1.50名、丹南地区1.00名、二州地区0.67名、福井地区0.57名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2007年第40週号(10月1日～10月7日)要点

発生動向総覧	<第40週> 百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い/その他最新動向
注目すべき感染症	<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 今後冬季のピークに向かって報告数は増加していくものと推定される <腸管出血性大腸菌感染症> 第40週の報告数は212例であり、累積報告数は3,647例である
病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2007年/B群コクサッキーウイルス5型2007年/インフルエンザウイルス2007/08 シーズン
速報	中国への研修旅行帰国後、細菌性赤痢感染が判明した学生グループの事例 - 新潟市
海外感染症情報	インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:報告はありませんでした。(なお、第41週に結核2名の報告がありました)
- 3類感染症:報告はありませんでした。
- 4類感染症:デング熱1名の報告がありました。
- 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成19年 第42週 平成19年10月15日(月)～平成19年10月21日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(41週)
インフル インザ (32)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを 除く)	1 0.09						1 0.03		470 0.10
小児科 (22)	RSウイルス感 染症									414 0.14
	咽頭結膜熱		1 0.33			2 1.00	3 0.60	6 0.27	5 0.23	354 0.12
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	5 0.71	3 1.00	1 0.33		3 1.50	5 1.00	17 0.77	16 0.73	2595 0.86
	感染性胃腸炎	71 10.14	8 2.67	9 3.00	3 1.50	1 0.50	13 2.60	105 4.77	96 4.36	9235 3.07
	水痘	2 0.29	10 3.33	1 0.33				13 0.59	9 0.41	1325 0.44
	手足口病								1 0.05	1755 0.58
	伝染性紅斑			1 0.33		2 1.00	2 0.40	5 0.23	7 0.32	311 0.10
	突発性発しん	4 0.57		2 0.67		3 1.50	5 1.00	14 0.64	15 0.68	1853 0.62
	百日咳									59 0.02
	風しん									6 0.00
	ヘルパンギーナ						1 0.20	1 0.05	5 0.23	1079 0.36
	麻しん(成人麻し んを除く)									20 0.01
流行性耳下腺 炎	1 0.14		10 3.33					11 0.50	5 0.23	836 0.28
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎		*	*	*	*				7 0.01
	流行性角結膜 炎						2 2.00	2 0.67	1 0.33	333 0.50
基幹 (6)	細菌性髄膜炎	1 0.50						1 0.17		4 0.01
	無菌性髄膜炎								1 0.17	24 0.05
	マイコプラズマ肺 炎	1 0.50	*				1 1.00	2 0.33		142 0.31
	クラミジア肺炎(オウム 病は除く)									15 0.03
	成人麻しん									2 0.00

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

* 欄には定点はありません。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成19年第42週 平成19年10月15日(月)～平成19年10月21日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
～5ヶ月		～5ヶ月				5				2						～5ヶ月								
～11ヶ月		～11ヶ月		2		10	1			6						～11ヶ月								
1歳		1歳		1		13	1			4			1			1歳					1			
2歳		2歳		2	1	12	1			1					1	2歳								
3歳		3歳			2	10	2			1						3歳								
4歳		4歳				7	1		4						2	4歳								
5歳		5歳			1	5										5歳					1			
6歳		6歳		1	3	10									4	6歳								
7歳		7歳			1	6	1								4	7歳								
8歳		8歳			5		1		1							8歳								
9歳		9歳			1	3										9歳								
10～14歳		10～14歳			3	13	2									10～14歳		1						
15～19歳		15～19歳				7	1									15～19歳								
20～29歳		20歳以上				4	2									20～29歳								
30～39歳																30～39歳								
40～49歳																40～49歳			1					
50～59歳																50～59歳		1						
60～69歳	1															60～69歳								
70～79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計	1	合計		6	17	105	13		5	14			1		11	合計		2	1		2			
前期計		前期計		5	16	96	9	1	7	15			5		5	前期計		1		1				
当期間/前期	***	当期間/前期	***	1.2	1.06	1.09	1.44		0.71	0.93	***	***	0.2	***	2.2	当期間/前期	***	2	***		***	***	***	***
増減数	1	増減数		1	1	9	4	-1	-2	-1			-4		6	増減数		1	1	-1	2			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき